

市立病院では、見学や体験を通して病院をより身近な所感じていただくため、11月14日(土)にオープンホスピタルを開催しました。「一般市民向け」と「中高生向け」の2コースで、約100人のご参加をいただきました。

一般市民向けでは、病院見学、血糖測定、骨密度測定、マンモグラフィー体験、ABI検査(動脈硬化の検査)、1日塩分摂取量の測定、白衣を着て記念撮影、医師による講話などを実施しました。病院見学では、入る機会の少ない中央手術室・臨床工学室(医療機器や手術で使用した器具を洗浄・滅菌する装置など)・臨床検査科(超音波診断装置など)・診療放射線科(CT、MRI、血管撮影装置など)で、各担当者から説明を受けました。また、病気の話・啓発活動として19のブースを出展しました。参加者からは「今まで見たことがない病院の設備を見ることが



▲エアーストレッチャーによる  
避難訓練の体験

できて良かった」「めったにできない検査や体験ができて良かった」といった声をいただきました。中高生向けでは、ナースのお仕事・体験コーナーを実施。参加者からは「医療について普段知らなかったことを体験できた」「血糖測定や手のリンパマッサージなど楽しく体験できた」といった声をいただきました。イベントの最後には、ぼくくぼさんによるサクソソロ演奏で素敵な音色を聞かせていただきました。



▲中央手術室の見学



▲MRI室の見学